

## 1.プログラムの目的と特徴

### (1) 基本理念

リハビリテーション学は障害に対し多面的アプローチ(臓器レベルでの機能改善、ADLの向上、住環境整備、社会適応援助など)により、健康寿命の延伸に重要な役割を果たす。リハビリテーション科研修では、急性期から生活期まで幅広い視点で患者さんの障害に対し診断・治療をおこなう事ができるよう研修をおこなう。

### (2) 一般的目標

上記の基本理念を念頭に置き以下の事を目的とする。

- CFを用い患者の評価およびゴール設定が出来るようになる。
- 医療および介護の制度を理解し適切なリハビリテーションをおこなう。
- 多職種と連携し患者の支援をおこなう。

## 2.指導体制

部長代行1名が指導にあたる。部長代行は日本リハビリテーション医学会専門医・指導医、研修医指導医、日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下認定医の資格を有する。

## 3.具体的な到達目標

### (1) 基本的診察法

現病歴、家族歴、社会背景、住宅環境

身体所見(筋力、巧緻性、高次脳機能、失語、嚥下機能等)

### (2) 習得すべき検査法

- 実行できる検査:嚥下造影検査
- 結果の理解と判断が出来る検査:血液検査、画像検査、生理機能検査、嚥下内視鏡検査

### (3) 治療手技の習得と治療法の理解

患者の障害に合わせた訓練内容および環境調整

### (4) ローテーションの間に習得すべき対象となる病態と疾患名

脳血管疾患、外傷疾患、運動器疾患・骨折、小児疾患、神経筋疾患、切断、内部疾患、がん、廃用症候群

## 4.教育課程

### (1) 研修医が参加する週間予定・教育活動

|   |             |                  |
|---|-------------|------------------|
| 月 | 9:15~9:45   | 回診               |
|   | 16:00~18:00 | HAL 外来           |
| 火 | 9:15~9:45   | 回診               |
|   | 12:00~13:00 | 口腔ケア・嚥下リハチームラウンド |
|   | 16:00~18:00 | HAL 外来           |
| 水 | 16:30~17:00 | 訪問チームカンファレンス     |
| 木 | 9:15~9:45   | 回診               |
|   | 13:30~16:00 | NST ラウンド         |
|   | 16:00~18:00 | HAL 外来           |

|   |             |        |
|---|-------------|--------|
| 金 | 9:00～10:00  | 嚥下造影検査 |
|   | 16:00～18:00 | HAL 外来 |

その他:適宜訪問リハビリテーションの往診

## 2) 研修医が参加して有益と思われる活動

日本リハビリテーション医学会等の学会参加・発表

## 5.研修修得度の評価

部長代行、療法士により、EPOC システムの評価項目などに従って評価する

- 研修の達成度
- 研修意欲
- 上級医・コメディカルを含む他のスタッフとのコミュニケーション能力
- 医師としての責任感
- 学会発表や論文作成

## 6.研修の特色

当院リハビリテーション科では、①急性期病院におけるリハビリテーション②生活期における訪問リハビリテーション③ロボットスーツ HAL による神経難病に対するリハビリテーションと多岐にわたる患者を対象としている。

リハビリテーション科専門医として必要な知識・経験を習得することが出来るプログラムとなっている。